

---

# 託された魔通師と守った魔通師

詩句谷 田茂利

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

託された魔通師と守った魔通師

### 【Nコード】

N9776Y

### 【作者名】

詩句谷 田茂利

### 【あらすじ】

へたれたニート、北谷蔣一は中卒であり、一日中パソコンの前で遊んでいるだけのダメ人間。エロゲを買いに久しぶりに外出した時、彼は武装集団に追われている少女、エレーナとばったり会う。エレーナは蔣一が魔術師だと説明し、蔣一は彼女と彼女の周りの魔術師に会う事で現代社会の裏、魔法の社会を知る。楽しく彼女と他の仲間と過ごしながらも、蔣一は魔術師達の血塗られた戦争に巻き込まれる。そして、その時になって彼はエレーナの存在を理解する。時には笑えて、時にはシリアスなファンタジーバトル/コメディ小

説！（なのでしょつか？こは読者が決めるものなので笑）

## プロローグ - 僕が「普通」であった頃

### プロローグ

北谷蔭一。それが僕の名前。外見はミディアムの黒の髪、黒と云っていい程濃い茶色の目である。背丈はおおよそ170センチであり、おおよそ平均である。顔立ちは悪くなく、イケメンかブサメンかのどちらかに分類されなくてはいけないのならば、イケメンの方に属するのだろう。しかし、これが僕の唯一の取り柄と言ってもいいだろう。なぜなら、僕の実際の人生は一般的な社会観点から言えば、最低の人生であるからである。成績はオール一、運動能力は1km歩くだけでもうボロボロ、リア充がyであつたら、必ず僕は-yである(要するに、僕とリア充の関係は $y'' - x$ の一次関数? いや二次関数か? まあとにかくとちらかにより表せる)。これと言った特技/趣味はない。

こんなだめな男を、冷酷な親は見捨てた。父親は大手会社の部長、東大卒である。そんな父は、今は別居中。そこまで僕が嫌いであつたらしい。母は父の事を愛していて、父も母の事を愛していたらしいが、このようなダメ息子と一緒にいるのが耐えられないと思いはじめた。それは僕が中2の時。その時、二人とも僕を捨てたかつたらしいのだが、子供を親の介護無しに放っておくのは違法である為、二人はコインを投げて、負けた方が僕を養い続ける必要があるという事になった。父が勝ち、母は負けたので、現在に至るまで仕方なく僕と一緒に住んでいる。

僕には琴音という妹もいる。妹は、正直言つて結構可愛い。な、妹についてこんなことを言うエロゲ中毒は僕の事だ。妹は普通の成績、普通の全てであつたが、全てがカス同然であつた僕の事を慕つてくれた。しかし、それは彼女が中一、僕が16歳(なぜ高一と言わないう理由は、僕が中卒であるからだ)の時、彼女は保健体育で、なぜ僕が部屋の中に長時間籠城して、ハアハアいいながら、「

たん」と言っている理由を学習したらしく、それ以来妹とはご無沙汰だ。

最近、僕は部屋の中にずっと籠城している事が多い。それは部屋の中でしか暮らしたくない僕、そして僕の顔も見たくない親（まあ母だけなのだが）と妹の両方の願望を叶えている為、一石二鳥である。ちなみに、食べ物や扉の下のような小さな長方形のような開く扉から入れられる。尿意の時は、しょうがない。トイレに行く。しかし、これは夜中の3時とかに行われるので、家に支障は出ない。

非常に楽しい生活である。まず、好きな時に起きる事ができ、好きな時に寝る事ができる。それに僕は中卒だから（オール一ですからね、しょうがないと言えばしょうがない）、勉強もしなくていい。

一日中、好きなだけ二二動画を観、どうしようもないコメントを書き、3ちゃんねるなどに投稿し、つまらなくなればネットゲでも立ち上げ、後は御察してください。このサイクルを僕は眠くなるまで繰り返す。そのようにして日々は過ぎ去るのであった。

しかし、何故か僕はこのとある日に理由もなく、久しぶりに外に出ようと思った。

これが自分の人生を完全に変貌するとは知らずに……正直言って、僕はよく想像するのである。もしこの日僕が外出しなかったら、僕の人生、僕の家族、世界情勢、魔通師と呼ばれる特殊な魔術師のグループの人間、名も知らぬ多くの人々、そしてこの中で最も大切である、この魔通師達に利用された可哀想な金髪の少女の人生はどう変わったのだろうか？これは答えられない質問であろう。だからといって、僕は問う必要はない、とは思わない。元々、問って答えが戻って来る質問等、数が知れているのだから。これは、人生を二トとして謳歌しよう、と思った中卒の少年の観点から描かれた、世界最高峰のアメリカの軍隊等あっさり倒してしまう力を持った魔通師と呼ばれる魔術師と彼らの一員の金髪の少女についての物語の、序章である。

## プロローグ・僕が「普通」であった頃（後書き）

え、こんにちは。初投稿です。

作者は詩句谷田茂利をペンネームとして使っている人間です。現在中学三年生、受験生です。しかし、受験なんかほっぽって小説を書いている、ある意味頭の逝かれた人間です。ちなみに、人生の三分の二を米国で暮らしている人です。だから、小説内の文法とかグチャグチャかもしれません。

小説を書きはじめたのは、とある友達達との会話で、小説を書こうか、と言う話題が出たのがきっかけです。それは2011年の6月位だったと思います。最初はおもしろ半分でしたけど、その時から僕達は全員小説を書いています。この小説は、僕が9月あたりから書きはじめた小説です。どうぞ温かく見守ってみて下さい。

後、批評は是非御願います。できる限りこれ（この小説）を良いものにしたいので。勿論いいコメントも欲しいです！

読んだ後感想、又は評価点を付けて頂けると嬉しいです！

では、第一章のときまたお会いしましょう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9776y/>

---

託された魔通師と守った魔通師

2011年11月29日16時52分発行